

介護事業部 ヘルパーセンター 好事例シリーズ①

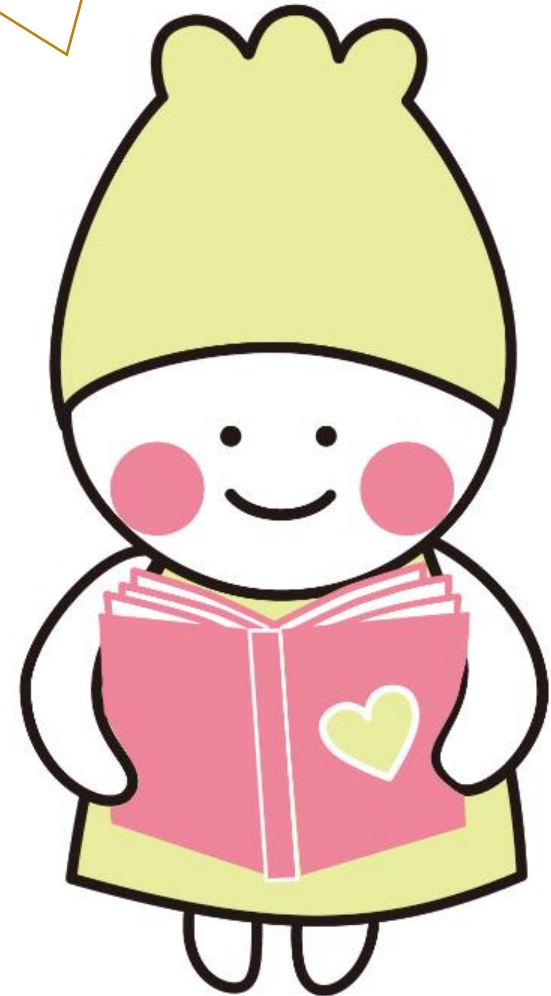
「毎日定期巡回の就寝介助をしたところ、足の浮腫と日中のうたた寝がなくなり、元気になった。」

～事例分類～

健康状態 / 理解・行動 / ADL /

家事・IADL / QOL / 介護状況

利用者さんが
どんな風に元気になったのか
読んでみるまも♪



スライド全5枚

【事例情報】

○98歳 ○男性 ○介護度3



【Before】令和3年4月23日頃

数日間の入院で足の浮腫みが引いていたが、自宅に戻ると浮腫がひどくなっていた。



【After】令和3年6月28日頃

訪問看護ステーションより、決まった時間に寝ることが出来、体調にも変化が出てきているとの報告あり。また、日中の**居眠りが激減したことで以前より睡眠取れている様子が見受けられるようになった。**

同時に**足の浮腫も少しずつ解消**され、室内の行動範囲がひろがってきた。本人も習慣づける事を自覚し、車いすのまま朝を迎えることが無くなった。

経過

阻害要因・背景	サービス・ケア内容	サービス提供のねらい
退院をきっかけに就寝ができていなく(夜ベッドに移れない)、朝まで車椅子でいることがある。	定期巡回が毎日、就寝介助に入る。	生活リズムの習慣づけと足の浮腫の防止。日中のうたた寝がなくなる。体力の回復。
着替える事が無くなった。	就寝介助時のパジャマへの着替え。	快適な眠りができる。
物盗られ妄想がある。薬品を管理する仕事に就いていた頃に取り扱っていた劇薬が麻薬用の金庫からなくなったことがあったらしく、当時の使用人が「劇薬を盗んだ」と何の根拠もない話をしていた。	本人としっかり、コミュニケーションをとり何を希望しているか聞きだす。	疑われない行動で必要なサービスを見出す。



事例提出者からのアピールポイント

項目	内容
利用者から不審に思われ れない事	難聴の為、しっかり意思が通じないで行動すると物盗られの 疑いがかかるので
統一したケアを提供す る。	訪問するヘルパーが毎日違う為、不安にならない様に利用者 に寄り添った統一したケアをする。
橋田軍団出陣	利用者が毎回の様に「君たちは何処から来たんだ」と言われ る為、利用者が信頼している担当ケアマネジャーでもある 「橋田所長の部署から来てます」と言うと安心される。 ※橋田所長は男性です。

□事例へのコメント□

この毎日定期巡回の就寝介助の甲斐があって、足の浮腫が少しずつ解消され、生活のリズムが生まれてきたとのこと。まさしく、**ご利用者の生活や命を支えていると呼ぶに相応しい活動**だと思います。

猜疑心が強いことに対しても『橋田軍団出陣』のエピソードにあるように『プロの対応』に改めて感心しました。また、ケアマネや訪看などとの良好な連携も伝わってきました。ご苦労されている関係者のみなさまに対し、心よりおねぎらい申し上げます。

【札幌市社会福祉協議会 常務理事】

私たちと一緒に 働きませんか♪

お友達を紹介して
ほしいまも

ヘルパー募集のご案内はこちら！



社会福祉法人札幌市社会福祉協議会
介護事業部



まもりん